

dretec

お知らせアラーム付 クッキング温度計

取扱説明書・保証書

0-263

家庭用

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、
正しく安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られるように大切に保管してください。

輸入発売元 株式会社 ドリテック

〒333-0811 埼玉県川口市戸塚2-11-8

URL : <http://www.dretec.co.jp>



保証規定

- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
- ※ 誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等による故障または損傷。
- ※ ご使用上に生じる外観の変化。
- ※ 本保証書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
- ※ 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- ※ 本保証書のご提示がない場合。
- 一般家庭以外（例として、業務用としての使用）に使用された場合の故障および損傷。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- 電池は保証対象外です。
- お買い上げ後 1 年間の保証期間内に、正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- この保証書は本書に明示した期間において無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- ご使用上の注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切責任を負いません。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。また法令の定めのある場合を除き、事前のご同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。

対象部品：本体 保証条件：持込修理

保証期間：お買い上げ日より 1 年以内

本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店へご相談ください。

保証書

お買い上げ年月日

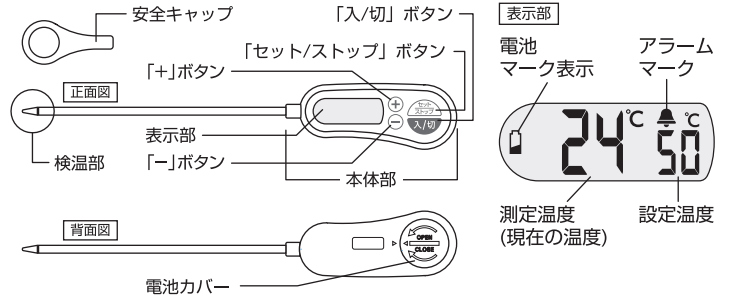
お買い上げ店

お名前

ご住所

お電話番号

各部の名称



電池交換

（使用電池：リチウム電池 CR2032×1 個）

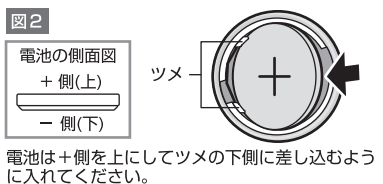
電池容量が少なくなってきたと、「入/切」ボタンを押したとき、右図のように「Lo」と「電池マーク」が表示されます。新しい電池と交換してください。電池交換は以下の手順でおこなってください。

- 1) 本体裏面の電池カバーをコイン等で「OPEN」の方へ回し、取りはずします。
※ミゾをつぶしてしまつと、フタを開けることができなくなるおそれがありますのでご注意ください。
- 2) マイナスドライバー等の先がとがったものをミゾに差し込み、古い電池を浮かせて取り出し(図1参照)、新しい電池の極性(＋・－)を正しく入れます。(図2参照)(＋を上にしてください。)
- 3) 電池の極性を間違えると液漏れ等が発生するおそれがありますのでご注意ください。
- ※電池カバーの凸部と電池収納部の凹部を合わせてセットし、コイン等で「CLOSE」の方へ回し、取りつけます。(図3参照)
- ※電池カバーが確実に閉じている事を確認してからご使用ください。

図1



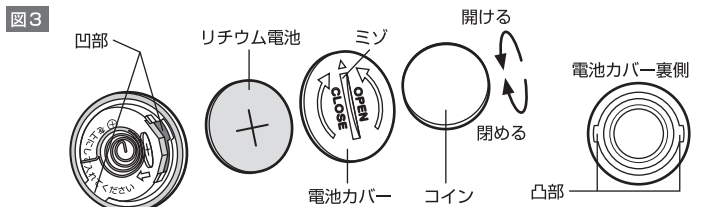
図2



※電池を取りはずす際に、電池が飛び出すことがありますのでご注意ください。

電池は＋側を上にしてツメの下側に差し込むように入れてください。

図3



※付属電池は動作確認用電池ですので、電池寿命は表示期間より短い場合があります。

ご使用上の注意

- 1) 本製品は防水構造ではありません。検温部以外は洗剤につけたり、水中に入れたり水洗い等は避けてください。
- 2) 静電気や電磁波(IH調理器や電子レンジなど)の近くで使用すると故障や誤動作の原因になります。
- 3) 高温や磁気の多い場所に置かないでください。
- 4) 加熱、分解、充電、改造、水中や火中での使用は避けてください。
- 5) 落下や衝撃は故障の原因になりますのでご注意ください。
- 6) 本製品検温部の使用可能な温度範囲は-50℃～+300℃です。この範囲以外の温度の計測は故障の原因になります。
- 7) 本体部は樹脂でできていますので、直接炎に当てたり、高温になる場所に置かないでください。
- 8) 安全キャップをつけた状態でフックなどに吊り下げないでください。また、安全キャップを持って振り回したりしないでください。
- 9) 検温部は串状になっており、ケガをする危険があります。取り扱いに十分ご注意の上、使用しない場合は必ず先端部に安全キャップをはめてください。また、小さな部品がありますので保管する際は、乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 10) 本製品は調理用ですので、体温測定等には使用しないでください。

⚠ 電池についての警告

- ショートさせたり、分解、加熱はしないでください。また、火中に投げないでください。発熱、液漏れ、破裂の原因になります。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- アルカリ電池の場合、万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合には、きれいな水で洗い流し、目に入った時には、きれいな水で洗い直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると発火、破裂の原因になります。

⚠ 電池についてのご注意

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液漏れや破裂のおそれがあり機器の故障、けがの原因となります。

- ※ 電池の極性(＋・－)を正しく入れてください。
- ※ 使い終わった電池はすぐに器具から取り出してください。
- ※ 長期間使用しない場合は電池を取り出しておいてください。
- ※ 電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の指示に従ってください。

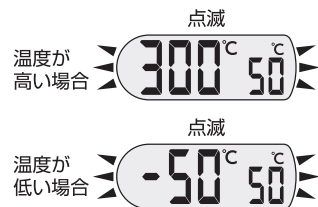
製品仕様

表示方法	液晶デジタル6桁
表示単位	1℃
表示温度範囲	-50～+300℃
検温部の使用温度範囲	-50～+300℃
動作保証温度湿度範囲	0～+40℃、85%RH以下(ただし、結露しないこと)
精度	0～+50℃：±1℃ +200℃以上：±2% (±4～±6℃) その他の範囲：±2℃
アラーム鳴動時間	約60秒
オートパワーオフ	約10分(ボタン操作がないとき) 約60分(アラームモードをセット時)
防滴性能	JIS C 0920 IPX2 相当
使用電池	リチウム電池 CR2032 × 1 個

※製品の仕様は改良などのため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

ご使用方法 必ず本体部を持ってご使用ください。鍋などに入れたまま放置しないでください。

- 1) 検温部の安全キャップを取りはずします。
 - 2) 「入/切」ボタンを押すと、全ての表示、マークが出たあと、電源が入ります。
※ 測定温度部には現在の温度が表示されます。
 - 3) 検温部を測定したいものに触れ(または刺し)て測定します。
※ 検温部の使用温度範囲-50℃~+300℃よりも測定された温度が高い場合および低い場合は表示部が点滅します。(右図参照)
 - 4) 測定後、「入/切」ボタンを押して電源を切ります。
※ 本製品は、オートパワーオフ機能が付いております。最後のボタン操作から約10分後、またはアラームをセットしたときから約60分後に自動的に電源が切れます。
- ※ 本製品はタイマーを備えていないため、時間に誤差が生じます。電源が切れるまでの時間はあくまで目安となります。



アラーム機能について

この温度計は測定温度と設定温度の関係により、セットした設定温度に達するとアラームが鳴ります。

- 1) 検温部の安全キャップを取りはずします。
- 2) 「入/切」ボタンを押すと、全ての表示、マークが出たあと、電源が入ります。
- 3) 設定温度の初期値は50℃です。「+」ボタン、「-」ボタンを押して設定温度を合わせることができます。(押し続けると早く進みます。)
※ 電源を切っても設定温度は記憶されます。
- ※ 「+」、「-」ボタンを同時に押すと、数値がリセットされ初期値の50℃に戻ります。
- 4) 以下の **A**、**B**、**C**、**D** の使い方をお選びいただき、用途に合わせてご使用ください。
- 5) 「入/切」ボタンを押して電源を切ります。

お手入れ方法

本体部は洗えません。汚れはかたく絞ったふきんで拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤をふきんにつけて拭き取ってください。
変色、変質するおそれがありますのでシンナー・ベンジン・ガソリン・灯油・アルコールなどは使わないでください。

A 温度が上がったときにアラームを鳴らす使い方 例1) 室温20℃で24℃の測定物が60℃になったときに鳴らす場合

- ① 設定温度を60℃にする
+ - で合わせる
 - ② 測定物の温度を測定する
 - ③ 測定物の温度が設定温度より低いことを確認したらアラームをセットする
セット/ストップを押す
 - ④ 測定温度が60℃以上になるとアラームが鳴ってお知らせ
マーク点滅
 - ⑤ アラームを止める
セット/ストップ または + または - を押す
- ※ 測定温度が設定温度より高いときにアラームをセットすると測定物の温度が上がってもアラームは鳴りません。
- ※ アラームは解除されます。

B 温度が下がったときにアラームを鳴らす使い方 例2) 室温20℃で90℃の測定物が80℃になったときに鳴らす場合

- ① 設定温度を80℃にする
+ - で合わせる
 - ② 測定物の温度を測定する
 - ③ 測定物の温度が設定温度より高いことを確認したらアラームをセットする
セット/ストップを押す
 - ④ 測定温度が80℃以下になるとアラームが鳴ってお知らせ
マーク点滅
 - ⑤ アラームを止める
セット/ストップ または + または - を押す
- ※ 測定温度が設定温度より低いときにアラームをセットすると測定物の温度が下がってもアラームは鳴りません。
- ※ アラームは解除されます。

C 一定の温度以下に保ちたいときの使い方 例3) 室温20℃で40℃の測定物が45℃以上にならないようにアラームを鳴らす場合

例) 湯せん調理

- ① 設定温度を45℃にする
+ - で合わせる
 - ② 測定物の温度を測定する
 - ③ 測定物の温度が設定温度より低いことを確認したらアラームをセットする
セット/ストップを押す
 - ④ 測定温度が45℃以上になるとアラームが鳴ってお知らせ
マーク点滅
 - ⑤ お湯からパウルをはすすなどして44℃以下にするとアラームが止まります。
- ※ 測定温度が設定温度より高いときにアラームをセットすると測定物の温度が上がってもアラームは鳴りません。
- ※ セット/ストップ、+ ボタンでアラームを止めてしまうと設定が解除されますのでご注意ください。

※ アラームの鳴動時間は約1分間です。④でアラームを1分以上鳴らし続けると、アラームが止まりマークが点滅したままになります。この状態で測定温度が下がり、設定温度より低くなるとマークが点灯し、アラームモードは継続されます。

D 一定の温度以上に保ちたいときの使い方 例4) 室温20℃で55℃の測定物が50℃以下にならないようにアラームを鳴らす場合

例) お湯で野菜を洗う

- ① 設定温度を50℃にする
+ - で合わせる
 - ② 測定物の温度を測定する
 - ③ 測定物の温度が設定温度より高いことを確認したらアラームをセットする
セット/ストップを押す
 - ④ 測定温度が50℃以下になるとアラームが鳴ってお知らせ
マーク点滅
 - ⑤ お湯を追加するなどして51℃以上になるとアラームが止まります。
- ※ 測定温度が設定温度より低いときにアラームをセットすると測定物の温度が下がってもアラームは鳴りません。
- ※ セット/ストップ、+ ボタンでアラームを止めてしまうと設定が解除されますのでご注意ください。

※ アラームの鳴動時間は約1分間です。④でアラームを1分以上鳴らし続けると、アラームが止まりマークが点滅したままになります。この状態で測定温度が上がり、設定温度より高くなるとマークが点灯し、アラームモードは継続されます。